

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成23年度第7回定例会
開催日時	平成23年10月26日（水曜日） 18時30分から20時00分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：幸内悦夫、中曾根聡、千葉桂子、畠山昭裕、須磨田純子、馬場真由美、西原みどり、大島眞之、福島憲子、加藤眞理、萩原健次郎、新藤浩伸 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、寺嶋分館長、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長、竹内主事
欠席者	委員：西嶋剛昭、渡辺文子
議題	1 第6回定例会の記録について 2 報告事項 1.行政報告 2.公民館だより編集室報告 3.都公連委員部会運営委員会報告 3 事業計画書・報告書について 4 協議事項 5 事務連絡及び情報交換 1.都公連協議会 第2回研修会（11月27日）の出欠の確認 2.第49回東京都公民館研究大会（12月11日）の希望課題別集会の確認
会議資料の名称	(1) 第6回定例会会議録 (2) 公民館だより編集会議報告 (3) 事業計画書 1.お手玉をつかって遊ぼう（保谷駅前） 2.楽しいチェス教室（芝久保） 3.エコ紙とんぼ工作教室（田無） 4.親子で連だこに挑戦 新春の空に連だこが壮大に舞う（柳沢） (4) 事業報告書 1.「外国人のための日本語講座」ボランティアスタッフ養成講座（柳沢） 2.したのや縄文キッズくらぶ（柳沢） 3.科学の本とあそび講座 わくわく実験から理科読も身につけよう！（ひばりが丘） 4.青少年講座 模型飛行機をつかって飛ばしてみよう ヘリコプター・飛行機の空飛ぶ原理を体感しよう（田無） 5.西東京市誕生10周年記念事業「地域を考える講座」 地域課題を解決するために地域人ができること（芝久保） 6.中国古典講座パート2「易・陰陽五行と暮らしのリズム…易経を読んで」（芝久保） 7.身近な材料から実験をしよう 手すきをして和紙を作ろう（保谷駅前） 8.東日本大震災から学ぶ講座「災害が起きたら、そのときあなたは？」（柳沢）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り（1人） 無し
会議内容	
<p>(1) 第6回定例会の記録について 訂正箇所は配布した資料のとおり。</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>1.行政報告 3件 館長： 1.公民館の夏期節電計画の9月分実績を報告。各館で目標値を達成。10月1日から陶芸窯の利用を再</p>	

開。

2.9月の定例議会において、適正配置の素案関係の質問がなされた。

3.決算特別委員会において、公民館の事業の組み方等についての質問がなされた。

委員：

2の適正配置についての質問は具体的にどのようなものだったのか。

館長：

質問の内容は次の通り。1.公民館と市民交流施設の違いについてどのように認識しているのか。2.公民館の見直しにあたり、市民の意見は取り入れないのか。3.公民館は教育施設であるが、教育委員会は認識しているのか。4.公民館と市民交流施設の役割分担・機能連携について。5.芝久保公民館・図書館の一体的検討と一部転用について。

委員：

パブリックコメントは何通くらいきているのか。

館長：

現段階ではまだわからない。後ほど広報より発表があると思われる。

2.公民館だより編集室報告

詳しくは添付の報告書のとおり。

- ・“ブラックライトシアターSUB”のSUBの読み方 サブ

3.都公連委員運営委員会報告

・次回の運営委員会が10月27日開催予定のため、取り立てて報告はなし。討議事項は11月27日の研修会についての細かいつめを行う予定。

・前回の話し合いの中で、新しい委員のためのハンドブックを作成した方がよいのではないかとの意見あり。すでに作成済みで各市に配布されている。またそれとは別に福生市が作成したハンドブックがあり、2部ずつ各市に配布されているとのこと。公民館側で確認をお願いしたい。

(3) 事業計画・事業報告書について (『・』は委員質疑・意見、『→』は職員回答)

事業計画

・エコ紙とんぼ工作教室

・本来事業目的・目標・期待される効果と一連の流れがないといけないと思うのだが、目標と効果が全く違うのでねらいが二つになってしまっている。報告書の段階であれば問題ないが、計画書の段階でズレがあると難しくなるのではないか。

→目標と効果のズレは感じるが、効果の部分は目標に隠れた部分であり、それを見越したものを効果として書いている。

→事業目的・達成目標・期待される効果にあまりこだわりすぎない方がよい。

この事業の目的は“交流”であるため、ねらいも“交流”に絞られている。仮に期待される効果に書かれている“エコ”をねらいに持ってきた場合、事業目的は学習・自己実現となる。従来の事業計画はあらゆる目的が混在したものであったが、新しい計画書では目的が一つに絞られたものになっている。事業目的と期待される効果にズレがあるように見えてしまうが、効果はあくまで副次的なものである。

・エコ紙とんぼとあるが、一般的に知られていない遊びなので、もう少しわかりやすい表現に変えたらどうか。例えば親子で連だこに挑戦の講座のように、サブタイトルを入れるなどの工夫をすると、わかりやすくなるのではないか。

→公民館だよりの記事や、チラシを作成する際に、わかりやすい表現を取り入れるよう工夫する。

・新規の講座になっているが、以前公民館まつりで行った事業であり、大変好評だったため、継続の講座にした方が参加者を集めやすくなるのではないか。

・親子で連だこに挑戦 新春の空に連だこが壮大に舞う

- ・目標と期待される効果が連動していて、ブレがないのでよい計画書である。
 - ・時間が延べ6時間あるが、子供たちは長時間集中して完成までもっていけるのか。
- 午前中に連だこを作成して、昼食をはさみ、午後移動するためこれだけの時間がかかる。

- ・雨天時の対応はどうするのか。

雨天時は外出できないかわりに、柳沢公民館視聴覚室を使用したアクティビティに変更する。また同日に行われる障害者学級との交流も考えている。

- ・計画書にお汁粉作りとあるが、事前にスタッフが用意するのか。

→たこの材料費とお汁粉を併せて300円の実費を徴収し、用意する。くるみ学級で餅つきを予定しているため、それも含めながら連たこと一緒にお正月気分を味わってもらおう。

・楽しいチェス教室

- ・12月23日のテーマと1月6日のテーマについてはどのような工夫をもってやる予定なのか。

→初回からゲームと並行して、各回でポイントにしているものをピックアップして学習していく。

- ・期待される効果が参加者の目線からのものではないのか。

期待される効果はあくまで副次的なものであり、会員数が増えれば結果として公民館の活性化につながるというもの。この事業の主たる目的はあくまで交流である。

- ・もっと定性的な目標設定しないと、報告書を書く段階で大変ではないだろうか。

- ・異世代間の交流とあるが、講座のどの流れの部分で交流が図れるのかをお聞きしたい。

→チェスサークルの会員は高齢の方が中心であり、参加者である子どもたちとゲームをする中で異世代間の交流を図ることができる。公民館のロビーで遊んでいる子どもたちは個々でゲームをしていて、会話やコミュニケーションのない状態がよく見受けられる。このような子供たちがチェスを通して高齢者の方と交流し、コミュニケーションが生まれるのではないかとというのが本講座企画のきっかけである。

・備考欄に“この講座がだよりの取材を通じて新たな企画につながった”とあり、公民館を利用している人との会話や、サークルとのつながりの中から生まれた講座であるということがよくわかるように書かれている。ぜひ他の講座についても、備考欄を活用するとよいのではないかと。

- ・会場名が“芝久保公民館第一会議室”となっているが合っているのか。

→芝久保公民館第一学習室に訂正。

・お手玉をつくって遊ぼう

・学習目的はこのままでよいが、そのまま終わってしまうのではなく、学習したものを発表する場や、作ったお手玉をロビーなどに展示して、子供たちが自由に遊べるような場を作るとよいのではないかと。

→保谷駅前公民館のロビーには展示スペースはないが、前向きに検討させていただく。

・効果の部分で、“練習を粘り強く繰り返す必要性”とあるが、小学生には少し重過ぎるように感じる。“繰り返し練習して発表し、成就感を味わう”くらいに変えた方がよい。

・全計画書について

- ・今月は親子を対象とした講座が多く、とても望ましい。

新しい事業計画書についての質問・意見

・期待される効果をどう書くかが悩ましい。目的・目標・効果がごっちゃになっている。

・事業区分はどのように分類しているのか。

→年度当初に作成した事業計画書をもとに分類したもの。4月にお配りしたが、5月に新しく加わった委員には配布されていないとのことなので、至急用意しお渡しする。

・評価のうえで一番参考になるのは参加者のアンケートである。効果に書かれているものを読み取れるようなアンケートを作成すると、報告書に書きやすくなるのではないだろうか。

・シンプルになった分表現が難しくなったように思う。

・計画書のわかりにくい部分に関してはblankにして、皆で協議したらどうか。

・目的・目標は以前と比べてわかりやすくなったが、効果がやはり難しいしわかりにくい。期待される効果まで設定してしまうと、職員にとっても負担になるのではないかと。

- ・期待される効果という軸自体が非常に重いので、この事業がどのように発展し、どう広げていくかという視点を持って考えた方が書きやすくなるのではないか。
- ・他で事業の助成を頂くときに、同じように効果の項目を書くことがあり、事業者としては非常に頭を悩ませるものである。しかしこの作業自体は決して無駄なものではなく、むしろ考えることでその事業に広がりを持たせる効果がある。効果自体は実際に達成できるかどうかはわからないが、そのような期待や効果をあらかじめ考えておくことで幅広い視点や、はっきりとした目標を持って事業に取り組むことができるのではないだろうか。
- ・新書式はわかりやすくなった一方で、大変難しいものになった。目標と効果は書き分けにくいので、事業目的と効果が連動した方がよいのではないか。例えば事業目的を地域づくりとした場合、効果の部分で地域にどのようなインパクトを与えるかを具体的に記入するなど。

事業報告

- ・「外国人のための日本語講座」ボランティアスタッフ養成講座
 - ・参加者と事業者の間に大きなギャップがあるように感じる。参加者の感想を読むと、参加者の方が高い目標設定をして参加していることが伺え、期待感を裏切った結果になってしまっている。
- ・身近な材料から実験をしよう 手すきをして和紙を作ろう
 - ・子どもにアンケートを取るときは、白紙のものだと回答しづらいので、ポイントを書くと回答しやすくなる。このアンケートは“楽しかったこと”や“難しかったこと”など項目が立ててあるので、よいアンケートである。
- ・したのや縄文キッズくらぶ
 - ・備考欄に“最初は講師・職員の言うことをまったく聞かない子がいたが、回を重ねることで、うまくコミュニケーションが取れるようになった”とあり、地域や公民館の中でこのような対応をしていただき、学校を代表してお礼を申し上げたい。
 - 講座の最後には子どもたちがきちんと挨拶をするようになり、講座を無事終えたとき担当者もホッとしていた。
- ※全体を通して
 - ・報告書は項目がたっていて読みやすいし、よくできている。

(4) 協議事項

特になし。

(5) 事務連絡及び情報交換

- ・東京都公民館連絡協議会 第2回 研修会の出欠確認（職員）
- ・第49回 東京都公民館研究大会の希望課題別集会の確認（職員）
- ・全体会が3年ほど前からなくなったのはなぜか。分科会に時間をとりすぎではないか。（委員）
- ・出欠等の連絡がないことが多いため、欠席する際などは必ずご連絡をいただきたい。（職員）
- ・スポーツゴミ拾いのご案内（委員）

(6) 次回の日程等について

日程は以下のとおり

11月30日（水曜日） 18時30分 於：田無公民館 第二学習室